

平成31年度第1回政策会議概要

- 1 開催日時：平成31年4月9日（火）16:00～16:22
- 2 開催場所：プレゼンテーションルーム
- 3 議事概要：以下のとおり
（●議題提出部局説明・回答、☆意見・質問）

議題1 「職場等におけるハラスメントの防止等に関する基本方針」について

●後田課長【人事課】（資料1に基づき説明）

国において、妊娠、出産、育児又は介護に関するハラスメントに関する規則等が制定されるとともに、性的指向や性自認に関するからかいもセクハラの対象になることを明確にする規則等改正があった。また、他県でも同様の動きがある。本県ではセクハラとパワハラに関する基本方針等を定め運用しているが、これを統合のうえ、妊娠、出産、育児又は介護に関するハラスメントに関する内容を一括して基本方針として制定することを検討してきた。

「基本方針」では、「基本的な考え方」、「ハラスメントに関する定義」、「職員の責務」、「相談への対応」等を定めるとともに、「基本方針の運用」では、具体的な事例等をまとめた。内容は従来のセクハラとパワハラの基本方針等や、国の規則等に準じたものである。

☆井戸畑環境生活部長

性的マイノリティ当事者からのセクハラ相談について、民間ではより注意を払って相談に対応していると聞いている。今後、幅広く相談を受けることが考えられるので、これまでと同じ相談体制でよいのか研究してほしい。

議題2 コンプライアンスの取組について

●喜多副部長兼コンプライアンス総括監（資料2に基づき説明）

職員倫理規程では、「県民の信頼」というキーワードを8か所で使っており、「正確、誠実、公正」という3つの言葉も繰り返し使っている。どれを欠いても県民の信頼を得ることはできないということを認識して日常の業務に取り組む必要がある。

組織マネジメントシートの記載区分の見直しについては、「コンプライアンスの徹底」という項目を新たに設け、取組方針等を記載することとしている。義務感だけで取り組むのではなく、チームワークを重視し、対話を通じて働きやすい職場、組織、風土をつくっていく意識がコンプライアンスの確保につながっていくという、前向きな取組となるようなメッセージの記載をお願いする。

●竹尾コンプライアンス・労使協働推進監（資料2に基づき説明）

「懲戒処分の指針」の改定については、「公文書の不適正な取扱い」の項目を新たに定める

とともに、「公務外非行関係」において、「人の身体を傷害した場合」、「常習として賭博をした場合」、「痴漢行為」及び「盗撮行為」に免職を加えた。

組織マネジメントシートの「高い倫理意識の確保」の欄には、職員の倫理意識を向上させるため、どのように徹底を図るのかを記載することとし、「適切な事務処理の実施」の欄には、不適切な事務処理の防止に向けて、どのように職員の意識や事務処理能力を高めていくのかという視点で記載するようお願いする。

☆鈴木知事

県民の皆さんの信頼を回復できるよう、危機意識をもって全職員が「自分事」として取り組んでもらいたい。単なる再発防止の実施にとどまらず、組織風土の改革や仕事の進め方の抜本的な見直しを進めることにより、県民サービスの質の向上や働き方改革にもつながっていくことを認識して主体的に取り組むこと。各部局長も意識を持ち続け、継続的に部局内職員へメッセージを出し続けてもらいたい。全ての政策が県民の信頼なくしてはできないので、それがまず原点にあるということを認識し、不適切な事務処理、不祥事については、過去にあったことからしっかり学び、再発させないという強い意識を持って取り組んでもらいたい。

議題3 春の政策協議について

●中野課長【企画課】（資料3に基づき説明）

平成31年度は「みえ県民カビジョン・第二次行動計画」の最終年度となるため、最終年度の目標達成に向けて、施策のより一層の進展等につながるように政策協議を有意義な場としていきたい。

協議は、昨年度と同様に個別協議と全体協議を行う。事業マネジメントシート、組織マネジメントシート等をもとに、個別協議では、施策等の進展度や達成状況において課題がある施策や部局長の組織マネジメントについて協議する。全体協議は、施策等の全体の評価状況や部局間連携など個別協議の指示事項について確認する場として実施する。

協議対象、日程の詳細は別紙のとおり。

（質疑等なし）

議題4 「春期緑の募金」運動への協力依頼について

●前田部長【みどり共生推進課】（【資料4】に基づき説明）

緑の募金運動は、春と秋に（公社）三重県緑化推進協会により行われており、春期「緑の募金」実施期間は4月1日から5月31日までである。春期「緑の募金」期間中に、職場募金のご協力をお願いしたい。また、緑の募金全国一斉強調月間の4月15日から5月14日に合わせて、緑の羽根の着用による普及・啓発活動にご協力をお願いしたい。

（質疑等なし）

●鈴木知事

新しいメンバーも入っており、政策会議では活発な議論を期待したい。大事なことは継承してもらってもよいが、過去にとらわれることなく、今これから正しいと思われることをしっかり行ってほしい。

特に、この1～2カ月はよく議論する時間にしてほしい。いろんな計画の策定期間であったり、私が3期目になったこと、令和という時代となることなど、いろんなことを見直したり、刷新したりするチャンスである。明るく前向きな提案を期待する。今までのやり方でいいのか、疑問を感じたら積極的に議論をしてほしい。こういった議論からコミュニケーションや職場での信頼関係が生まれたり、不適切事務の根絶にもつながるので、意識して議論をする年度のスタートとしてほしい。